

ミカン生育情報

千葉県
平成 26 年 12 月号

平成 26 年 11 月の気象

平均気温は、第 4 半旬は平年より 1.3℃低かったが、その他の半旬では平年と同じか 1.0～1.7℃上回った。月平均は 13.8℃で、平年より 0.6℃、前年より 1.3℃高かった。

降水量は、第 1 半旬は平年をわずかに上回ったが、第 2～第 5 半旬では平年を大きく下回った。月合計は 67mm で平年より 79mm (54%)、前年より 52mm (44%) 少なかった。

日照時間は、第 1、第 2、第 6 半旬で平年を下回り、その他の半旬では上回った。月合計は 130 時間で平年より 14 時間(10%)、前年より 43 時間 (25%) 少なかった。

表 1 平成 26 年 11 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	16.6	15.3	15.3	21	19	26	15	24	19
2	15.8	14.8	15.4	4	36	74	8	24	19
3	13.9	13.9	9.8	1	20	2	32	23	22
4	11.0	12.3	12.7	14	25	10	30	23	42
5	12.6	11.6	11.3	5	22	0	25	24	39
6	13.1	11.4	10.7	24	24	8	21	25	32
平均/計	13.8	13.2	12.5	67	146	119	130	144	173

普通温州の果実品質

着色程度は「大津 4 号」、「青島温州」とともに全ての調査地で平年以上であった。糖度は「大津 4 号」、「青島温州」とともに千倉地区以外は平年以上で、平均値はほぼ平年並みであった。酸度は全ての調査地で平年を大幅に下回り、平均値は平年より 0.24%低かった。甘味比は全ての調査地で平年より高く、平均値は 3.2 高かった。果肉歩合は浮皮が一部で発生したこともあり、全ての調査地で平年より低く、平均値は 1.5%低かった。

表 2 普通温州の果実品質 (平成 26 年 12 月 3 日)

品 種	調査地	着色程度		糖度(Brix)		酸度(%)		甘味比		果肉歩合(%)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
大津 4 号	三芳地区	9.3	8.1	10.5	10.1	0.70	0.90	14.9	11.4	73.6	75.5
	千倉地区	8.8	8.8	9.8	10.6	0.76	1.00	12.9	10.8	75.2	75.8
	暖地園研	9.1	7.9	10.4	10.1	0.68	0.95	15.1	10.8	74.2	75.3
青島温州	三芳地区	9.1	7.4	9.7	9.2	0.71	0.98	13.6	9.6	73.4	74.4
	千倉地区	8.3	8.0	9.1	9.9	0.79	0.96	11.5	10.5	72.4	75.2
	暖地園研	8.3	7.7	9.7	9.7	0.72	0.95	13.3	10.3	72.9	76.0
平 均		8.8	8.0	9.8	9.9	0.73	0.97	13.6	10.4	73.6	75.1

注) 平年値は平成 5～25 年の平均値、甘味比=糖度/酸度

果実の生育

果実の生育を表3に示した。着果数の多少により、果実の大きさが異なる傾向となった。「大津4号」と「青島温州」の3調査地の平均は、横径及び縦径の平年比がともに104%と、いずれも平年をやや上回った。

果実の生育は、夏期の少雨と8月下旬から9月の低温傾向によって緩慢となり、平年を下回っていたが、10月の降水量が多かったことと、10月下旬から11月の気温が高かったことにより若干回復した。

川野夏柑の横径は106%、縦径は104%で平年を上回った。

表3 果実の生育（平成26年12月4日）

種類・品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
大津4号	三芳地区	7.1	(95)	4.8	(94)
	千倉地区	7.9	(106)	5.1	(103)
	暖地園研	9.0	(118)	5.7	(110)
青島温州	三芳地区	7.1	(95)	4.9	(95)
	千倉地区	7.1	(96)	4.6	(91)
	暖地園研	8.8	(117)	5.7	(111)
川野夏柑	暖地園研	10.0	(106)	7.8	(104)
平均*	普通温州	7.8	(104)	5.1	(104)

注) () の数字は平年値（平成6～25年の平均）を100とした比数

* 普通温州：大津4号、青島温州の3調査地の平均

12月の栽培管理

マシン油乳剤の散布 カイガラムシ類とミカンハダニの防除のためにマシン油乳剤（97%）の60～80倍液を散布する。12～3月の内、厳寒期を避け暖かい日に実施する。雨が降った後、樹皮が完全に乾いていない時に散布すると樹への影響が少ない。樹勢の弱い樹では散布を避ける。なお、ミカンハダニに対しては、寒害を受けやすい園地や着花量が少ない園地では4～5月に100～200倍液を散布する。防除にあたっては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

防寒対策 気象情報に注意し、適切な防寒・低温対策をとる。寒風を防ぐためには防風垣や防風ネットを設置する。冷気のたまりやすい場所は下枝を切り冷気を逃がす。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>